



内閣府（防災担当）

## 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会（第10回） 議事概要について

### 1. 検討会の概要

日時：平成29年8月14日（月） 15:00～17:00

場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：佐竹座長、今村委員、岡村委員、谷岡委員、平川委員、平田委員、松澤委員、  
翠川委員、三宅委員

### 2. 議事概要

事務局から検討状況の説明を行い、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について審議を行った。概要は、次のとおり。

○最大クラスの地震を検討する対象領域について、以下のことが了承された。

- ・東北地方太平洋沖地震での大すべり域の中心的な領域である岩手県南部から宮城県北部（以下、「中心的な領域」）では、最大クラスの地震の発生は当面考えられないことから、別途最大クラスの地震動・津波の検討はしない。
- ・中心的な領域の北側に隣接する領域から北側の日本海溝及び千島海溝を今回の検討対象領域とする。
- ・中心的な領域の南側に隣接する領域から南側の日本海溝は、津波堆積物の資料が十分でないため、今後改めて、伊豆・マリアナ海溝における最大クラスの地震動・津波とともに検討する。

○最大クラスの地震動・津波の設定について、以下のことが了承された。

- ・津波の想定に用いる津波断層モデルは、検討対象領域の沿岸や内陸で確認された津波堆積物のインバージョン解析結果を踏まえ、当該領域のアスペリティの分布や東北地方太平洋沖地震で得られた知見等もあわせて設定する。
- ・地震動の想定に用いる地震断層モデルは、検討対象領域で過去に発生した地震の強震動生成域や当該領域のアスペリティの分布を踏まえて強震動生成域を検討し、応力降下量は東北地方太平洋沖地震等の当該領域で過去に発生した大規模地震を参考に設定する。

○当検討会では引き続き、日本海溝・千島海溝において過去に実際に発生したM8クラスの地震を参考に最大クラス以外の地震の地震動・津波について検討する。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 高橋 伸輔

同参事官補佐 岩村 公太

TEL : 03-3501-5693（直通） FAX : 03-3501-6820